

武漢夏の水上イベント

大分市武漢事務所 趙 南星

武漢には長江（揚子江）やその最大支流の漢江が市内を流れています。このため「江の城」と呼ばれているほか、湖が多いことから「百湖の都市」とも言われています。水面の面積が都市全域の4分の1を占めており、水面が熱を反射するため武漢は昼も夜も暑いです。夏は避暑のために水上アクティビティを楽しむ人が多いです。今回は武漢の夏の水上イベントを紹介します。

★長江横断水泳大会★

武漢では、毛沢東主席の“勇敢さ”に敬意を表したイベントとして、毎年7月16日に長江を泳いで横断する「**武漢長江横断水泳大会**」が行われています。

今年で48回目の開催です。大会の

前半は競泳個人戦（水泳距離1,800m）

後半は団体戦（水泳距離6,000m）

が行われます。

参加するのは国内外のプロ選手で、過去に大分市の選手も数回参加したことがあります。団体戦は今年3年ぶりに開催され、国内から計28チーム、総勢約2,000名が参加しました。

個人戦の様子



団体戦の様子



長江横断水泳大会の応援横断幕



長江横断水泳大会救援船



最初に入水した「万里の長江を横断」のスローガン旗を担ぐチームを先頭に、その後に企業チーム、青少年チーム、軍事大学チーム、武漢市の各区の水泳チーム、そして広東省、山西省、江蘇省など他地域からのチームも加わり、まるでお祭りのパレードのように盛り上がりました。武漢横断水泳大会は半世紀以上の歴史を持ち、国内外から注目され、今では武漢の特色あるスポーツイベントの1つとなりました。

※写真は武漢事務所スタッフ撮影

武漢夏の水上イベント

大分市武漢事務所 趙 南星

★両江遊覧船★

武漢の夏の夜の過ごし方の一つとして**両江遊覧船**があります。遊覧船で涼しい風を感じながら、ライトアップされた街の景色を眺めることができます。

武漢両江遊覧船①



武漢は長江中流と漢江の合流点で、漢口・漢陽・武昌の三鎮（※注）に分かれています。両江遊覧船は、漢口、武昌の専用埠頭から出発し、亀山テレビ塔、黄鶴楼、武漢長江大橋などの代表的なスポットと両岸の都市の夜景を約1時間で満喫できます。

※注 三鎮（さんちん）：

「鎮」は中国の中心都市の意味です。三鎮は武昌・漢口・漢陽3市の総称、現在は合併して武漢市を構成。

武漢は大きい川と湖がある都市です。夏は情熱に満ちていて美しいです。是非夏の武漢に来て、水上イベントを楽しんでみてください。

武漢両江遊覧船の乗船を待つ長蛇の列



夏になると、毎晩乗船口に長蛇の列が並び、チケットを入手するのも一苦労です。

武漢両江遊覧船②



※写真は武漢事務所スタッフ撮影